

2010年度 第3回 九州ブロック協議会及び各県女性担当者会報告

日時：1月29日（土）～30日（日）

場所：「熊本県連盟事務所」

住所：熊本市白山3丁目9-14メゾン林1F

参加者：（福岡）長尾・信国・平田 （長崎）川原・吉野 （熊本）樺島・須藤・山本・奥山

議題：

1. 2010年度の活動のまとめ

① 「田部井淳子さん 労山・50周年記念講演会」

10月2日 熊本市民会館において400名の参加で成功した。

問題点・標題がコロコロ変わり案内作成に手間取った。

- ・資料（チラシ・ポスター）などの到着が遅れて宣伝が遅くなった。
- ・全国連盟女性委員会の動きが遅い、又連絡体制ができていない。
- ・300名程の会場に400名も入り、会場に迷惑をかけた。

良い点・教育委員会から後援を受けたので、他の報道機関もスムーズに後援を受けた。

- ・会場いっぱいの参加者で、もりあがりがあった。良い50周年記念になった。
- ・多くの参加で運営費も赤字が出ずに済んだ。

② 「2010年度九プロ遭難対策訓練」 in “霧島”

10月30日～31日「えびの高原キャンプ村」において98名が参加して「韓国岳小学生遭難事故の教訓」「救急救命の対処法」「セルフレスキュー」などの講習を行い、熱気のある訓練となった。翌31日は雨の中、3コースに分かれて事故現場の調査登山を行い黙祷を行った。

問題点・セルフレスキューで全国連盟の講師が急なキャンセルで地元の講師を手配するのに手間がかかった。又、交通費なども。

- ・31日は雨が降り、調査登山のメンバーが大幅に変更となった。

良い点・救急救命の講習会は分かりやすい説明で良かった。

- ・消防署の話で捜索の時に消防・警察・自衛隊などの捜索隊が持っている無線機は、それぞれ周波数が違うため、横の連絡が取れない事がわかった。
- ・セルフレスキューの実技講習を31日に行った。そのため、参加者が調査登山と分散して結果的に、それぞれが丁度良い程度の参加者となった。

（関連する事案）

2011年1月9日に長崎県連の所属会で滑落事故が発生した。この時に事故が起きて警察や消防などの救助隊が出て事故者の引き上げを行っているが、その事故連絡が県連に対して無く、2日後に別組織から情報が入った。この会では毎月、セルフレスキューの講習会を行っていたが、全てを会長に頼っていたために非常時の対応が訓練されていなかった。事故者は軽傷で済んでいる。連絡体制の訓練も必要では。